

寄宿舎便り



令和4年3月24日発行
第16号
文責 柿下

ご理解とご協力ありがとうございました

2020年4月16日に緊急事態宣言が全国へ拡大した日から、もうすぐ2年になろうとしています。未知のウイルスに恐怖を覚え、何が最善なのか模索しながら日々を過ごしたように思います。現在、2年前とは比べものにならない多数の新規感染者が報道されています。しかし、新型コロナウイルス感染症への対策の徹底や「新しい生活様式」の定着によって、本校寄宿舎でクラスターを起こすことなく過ごせていることは、舎生と保護者様のおかげだと感謝しております。具体的には、舎生に外出の制限や食事中の黙食、行事の制限などの心苦しいお願いが続きました。また、ご家庭においては通学依頼やご家族の体調面の確認依頼などについて、快く引き受けていただくなどしていただきました。新型コロナウイルス感染症のみならず、季節性の感染症についても本校寄宿舎で集団感染が起こるようなこともありませんでした。これもひとえに皆様のおかげだと感じております。

最後になりますが、1年間、心苦しいお願いに対してご理解とご協力をいただき、心よりお礼を申し上げます。

「1年間、ありがとうございました。」



双葉会役員からのあいさつ

☆双葉会会長

会長として、この一年間色々な行事を考え、実行することができました。私が会長になった時の目標は、「みんなのたくさんの笑顔が見たい！」でした。その目標は、様々な行事を通して、みんなが笑顔で楽しんでくれたので、達成できたかなと思っています。

特に、ビンゴ大会では、副会長と協力し、たくさんの先生方にビンゴの賞品についてプレゼンをしました。その結果、すごい数の豪華賞品が集まり、それを手にした舎生みんなの喜んだ顔を見た時の達成感は、忘れられない思い出です。こういう経験ができたことは、自分自身の成長に繋がったと思っています。

今後、ぜひ在舎生の皆さんにも、積極的に双葉会活動に興味を持って、舎生活をもっと盛り上げてもらいたいです。

一年間、本当にありがとうございました。

☆双葉会副会長

今年1年間双葉会役員を務めてみて、様々な行事に参加・企画を考えることがとても楽しかったのを覚えています。ポッチャ大会やビンゴ大会など、皆さんが楽しんでいる姿がとても嬉しく、1年間双葉会役員として活動できて良かったと思っています。今回の経験を次の会長・副会長へ伝えていき、より良い寄宿舍になるよう、サポートしていきたいと思います。来年は、私は国家試験を迎えますが、あと1年、よろしくお願いします。

ひな人形を飾りました

寄宿舍では、登校と下校の時に見て頂けるように、玄関にひな人形（男びなと女びな一対だけのもの）を女の子が元気で幸せになるようにお祝いの気持ちや願いを込めて飾りました。舎生が玄関のモニターから流れてくるひなまつりの歌を口ずさんだり、ひな人形を見たりと楽しむ姿が見られました。3日の夕食は、ひな祭り献立としてひな祭りミックスゼリーを堪能しました。



玄関に男びなと女びな一対のひな人形を飾りました。



ひな人形の隣にはひなあられを置いていました♪

